

ぼらんていあ

玉城町ボランティアセンターだより

いつでも どこでも だれでも 楽しく ボランティア



デイ利用者の似顔絵を描く小学生



最後に笑顔で握手

体験しました!

「ボランティア」

8・24(内容は3ページ)

ボランティアって何

ボランティアそれはわたしたち一人一人のほんの少しの勇気や思いやりが、わたしたちみんなを幸せにしてくれる活動です。

自分の家族や友だちが困っているのを見たら、手をかしたくなります。だれにでもあるその気持ちがあるのがボランティアの種なのです。自分を生かすために、自分から何の見返りも求めずに、ふれあいのつながりをつくりに出向いていくこと。それがボランティアの芽生えなのです。

ボランティアセンターの役割

情報提供

ボランティアに関する情報提供をします

相談窓口・コーディネート

ボランティアをしたい人やボランティアを受けた人・団体の相談窓口となり、実際の活動へ導くためのコーディネートを行います。

養成・育成

各種入門講座を開催したり、グループの育成や研修会などを実施します。

啓発

ボランティア活動への理解や参加を目的に、情報誌の提供や地域での啓発を行います。

左から
山本君(野球部)、中野君(空手部)、油家君(剣道部)



スポーツ少年団 赤い羽根 募金活動

に、赤い羽根の募金活動をしていただきました。体育大会に参加された皆様の暖かい善意のもとにたくさん募金が集まりました。スポーツ少年団のボランティア活動及び募金をして頂いた町民の皆様へ深く感謝いたします。ありがとうございます。

10月10日
行われまし
た町民体育
大会におい
て、スポー
ツ少年団の
みなさん

わたしたちの社会をよりよくするために、ひとりひとりが、共同の責任者としてひとりひとりが、まわりのひとのためにひとりひとりが、思いやりの心をいっぱいにしてひとりひとりが、幸せな毎日を送れるようにひとりひとりが、毎日の生活の中で考え、自分のできることに、自分のできることをしていきましょう



あいさつ

寒暖不同の際、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

平素は、町社会福祉協議会ならびに各ボランティア団体に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度「広報、たまきぼらんていあ」第1号を発行することになりました。当町では、昭和61年にお話キャラバンが発足し、つづいて平成4年には玉城虹の会、同年ボランティア玉城が平成8年には玉城たんぼぼが、また、今春、和敬会と今では5つのボランティア団体が結成されております。なお、この5団体が結束し、玉城虹の会、会長の井上傳吉氏を玉城ボ連協会長に選任し、各々の団体が独創的な活動を展開しております(活動内容は9月発行の社協だよりNo7でお知らせしております)。

今更、私が申し上げるまでもなく、ボランティア活動は自由な意志による自発性に支えられた実践行為そのものであり、福祉社会づくりに積極的に取り組んで頂く意図的、計画的な日常活動であると思えます。行政、社協、ボランティアが一体となり今後共活動いただく会員各位に感謝し、また新しく自分も一つやってみようと思われる方の入会をお待ち申し上げ、皆様へ待たれ、よろこばれるボランティアを目指してゆきます。

玉城町社協 会長 中村 勝臣



夏休みボランティア 福祉体験シリーズ

誰でも
気軽に!!



小学生体験教室(8/24)

町内4小学校5・6年の児童約50人が参加。車椅子体験、アイマスクをつけての目隠し歩行や重い用具を付けての高齢者疑似体験をしました。また、デイサービス利用者との交流で似顔絵を描きプレゼント、目を細めて喜ぶお年寄りの様子に児童も新鮮な喜びを感じた一日でした。



中学生デイサービス体験(8/3・4)

玉城中学校の生徒12名が、デイ利用者の送迎介助、入浴時の衣服の着替え、食事介助などを通して、「デイサービスとは何なのか?どんなことをするところか?」...を体験しました。今後、お年寄りにやさしく接してくれることでしょう。

「くんでくれたみたいだ。た、その後、シーツアをがひいたのを見た、私は、きんが、たけじんな楽しそうだった、私、いろいろな体験をして、し、さいにおとしりの方は、こんなくろつをしようんたなど、もしこんな人がいたら、うたいにすけようと思いました。そしておばあさんおじいさんが楽しんでくれたならすくうれしいです。」

「つで生活をわくわくなく、いけんいんたから、そんな人は、すこいと思つた。ざじ体験では、足をこいていたりおもろうでにまいたり、ぼやけて見えろめがねをつけて、歩いたりもしました。どれも、すこくたいへんでした。午後からは、おじいさんやおばあさんと私たちと絵を畫いたりした。私たちは、同春子さんと、いろいろな事をした。絵は、あまりうまく書けなかつたけれど、周さんは、よ

「デイサービス、青団小、六年、入敷、成夫、八月の二十三日に、デイサービスに行つた。午前は、いろいろな体験をしました。始めに、歯をすした、足の不自由な人は、歩けないからいろいろなうしろして、いんた、思いました。次は、アイマスクをつけた、アイマスクでは、通に出て歩いたりしたり、すこくこれか、た目の見えないうちでもあんなにうつき、

ボランティア 参加作文から

「ボランティアを体験して、八月三日の、デイサービス体験。前の日の夜から、本音に不安でした。でも、実際の現場に行つて、いろいろなお手伝いをさせていだけたら、おなさんがやさしくて、みんな不安なんて、いつの間にか消えていきました。私が一番、すこいなと思つたのは、お名前を覚えるのは、名前だけじゃなく、一人一人の今日の様子とか、何をして、とかを、ちゃんと覚えていきました。デイサービスの方も、病院にいるのと同じくらい、個人の事を大切にしてくれて、本音に感動しました。あと、現場がすこく、あつた、おなさんが、明るくて、見て、いる、こつちまで、知らず知らずのうちに、笑顔になつていきました。」

「私が、このデイサービス体験で身に感じて、学んだものは、本音にたくさんあります。人と人とのふれあいの大切さや、やさしさ。でも、言葉に出して、説明するのとは、とてもおもしろい。以前にも、高齢者ホームで、介護の体験をした事があるけど、やっぱり一回一回、心に染みる事は違います。高齢者介護は大変です。でも、併発がないと分かりにくいものです。今回の体験でも、強くそれを覚えました。小学校中学年の頃から、私の夢は、高齢者介護のお仕事につくことです。また一歩夢に近づいたような気がしてとてもうれしかったです。職員のおみなさん、本音に楽しんでいた、あつた、と、うごかしました。また、機会があれば、いつでも呼んでください。」



手話教室 を終えて

手話で「お喋り会」
昨年の9月から今年9月までの1年間手話教室に通い共に学習を深めてきた仲間が集まってこの度「お喋り会」が発足。
聴覚障害者とのコミュニケーションを目的とし、毎週木曜日午後7時から町福祉会館で手話のお喋りをしています。

会員の声

あつという間の1年でした。月2回、和気あいあいと聾啞者の方を交えた楽しい一時、たくさん手話を学びたくさんの人と出会えたことうれしく思っています。



New Group 誕生

「和敬会」

「お抹茶で ホット ブレイク」

和敬会のメンバーは月1回、玉城町デイサービスセンターを訪れ、利用者に、お抹茶でもてなしをして下さるボランティアグループです。淡い緑のお抹茶をたて、午後のくつろぎのひとときを楽しませてくれます。



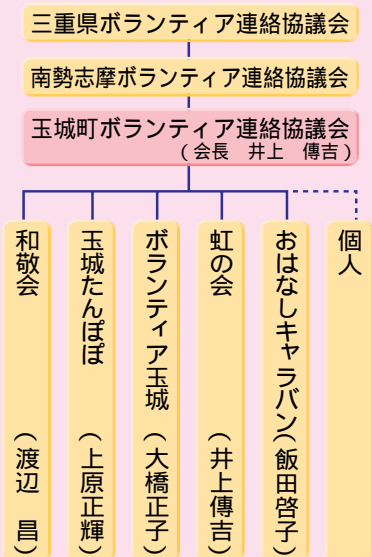
代表の渡辺 昌さん

メンバーは、
渡辺 昌さん・中西 幸子さん・飯田 啓子さん

第8回「全国ボランティア フェスティバルみやざき」に参加

10月23日～24日宮崎県宮崎市シーガイアで開催された全国大会に3000名が参加。玉城ボ連協からは、井上傳吉、松田春美の両名が参加し、各地のユニークなボランティア活動、ボランティアの抱える問題等など身近にふれ、わが町の今後のボランティア活動の参考にと、意義深いフェスティバル参加でした。

[ボランティア連絡協議会組織図]



あなたも!! ボランティア登録しませんか!

個人で、グループでボランティア活動される皆さんに、安心してボランティア活動が行えるよう、玉城町ボランティアセンターでは、ボランティア活動保険の加入手続きを行なっています。自宅を出て活動を行わない自宅に帰るまでの事故を補償しています。

詳しくは、玉城町ボランティアセンターへ

ひとりひとりの安心をささえる

ボランティア活動保険

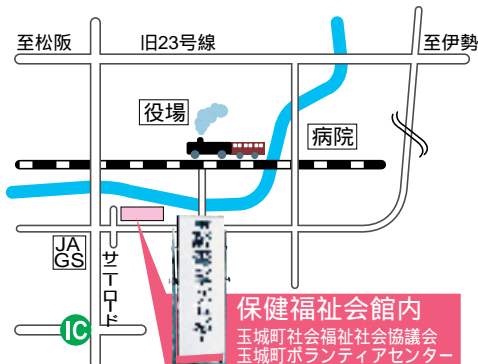
内容充実、
補償金額をアップ!

ボランティア自身のケガや他人の身体・財物に与えた損害など、活動中の事故を補償します。

掛 金	Aプラン	300円
	Bプラン	500円
	Cプラン	700円
	Dプラン	2,770円 (天災危険補償プラン)

お申込み、ご照会は、玉城町社会福祉協議会へ。

ボランティアセンター付近図



ボランティアに関するお問い合わせ

社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
玉城町ボランティアセンター

住 所：〒519-0433 玉城町勝田4876番地 1
玉城町保健福祉会館内
電 話：0596-58-6915 Fax：0596-58-6916